回 覧

南向台には多くのプロフェッショナル集団がいる

南向台 安全パトロール隊 の流儀



隊長を務めるのは「髙野 喜一 氏」

令和5年度 福島市暮らしの中の支え合い「お宝」認定

南向台自治会にて地域の安全を守ろうと協議、住民から隊員を募集し、平成 17 年 7 月に発足。髙野 氏は、南向台太極拳愛好会会長も務めている。
手作りの名刺から誇りを持ち活動を続けていることが伺える。



髙野氏の安全パトロール隊の はじまり．．．それは、孫の小学校入学だった。
「いつかは自分も歳をとる、子どもたちにお世話になるときが来る。だから今、自分が孫や地域にできることをしたい」



髙野氏の流儀

そして髙野氏は 気づいた．．．それは、自分も児童に見守られていること









一、「ながら(ついでに)見守り」「気にかけ合い」「お互いさまの関係」を大切にする
（活動継続の秘訣。「声かけいたずら等」を未然に防ぐだけではなく、安全安心な街づくりを目指している）

二、「お互いの近況を分かちあう。必ず一日どこかでだれかと話をする。」
（下校前に隊員同士・学校・学童と顔を合わせて会話。メールも活用し、児童の様子を情報共有している）



共に歩む隊員の流儀







一、パトロール前に公園を歩く（運動し、自らの体力を整える）
二、学校の花壇など環境もパトロール（学校周囲も美しく且つ安全であるかを見る）
三、お互いに名前で呼び合い気楽に会話（児童の個性を知り、成長しても気にかけ合える）
四、自宅で待つ保護者との会話（顔を知り話しやすい関係づくりは、地域みんなで子育てサポート）
五、児童に会えばクイズ出題（下校途中だけでなく公園でも…お互いの脳トレ）
六、南向台を歩くときはいつでもパトロール隊に変身（いつでもながら見守りで防犯活動）

今日も南向台では地域の宝である子どもや地域の安全安心のため、
プロフェッショナル・南向台安全パトロール隊が輝いている